



Little Diamonds

YOUTH

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)選手権

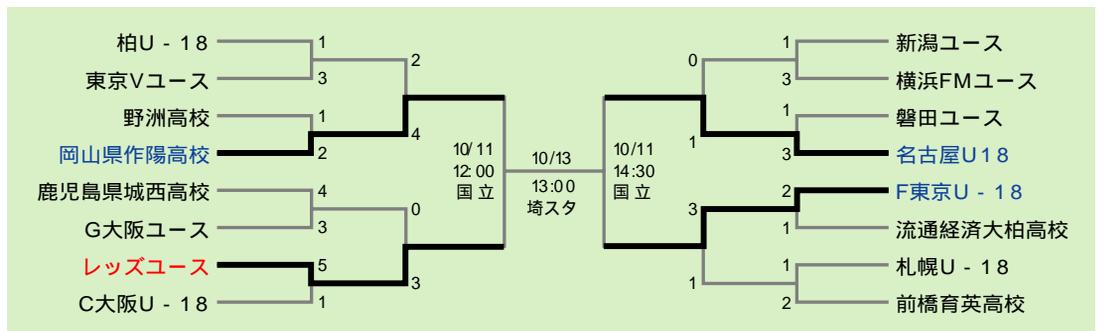
浦和レッズユース 2年連続準決勝へ進出!

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)選手権で、浦和レッズユースが準決勝進出を果たした。9月7日から始まった1次ラウンドを2勝1分けのグループ1位で通過したレッズユースは、決勝トーナメントでも1回戦、準々決勝を無難に勝ち進んだ。同大会のベスト4入りは2年連続2回目となる。昨年は準決勝で敗れており、今年夏の日本クラブユース選手権(U-18)で予選リーグ敗退したことと合わせ、リベンジを誓った選手たちの目標が実現に近づいている。準決勝は10月11日(土)国立競技場で、決勝は13日(月祝)埼玉スタジアムで行われる。

(2、3面に関連記事)



高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)選手権準々決勝 先制点を挙げた高橋(左)をイレブンが祝福する(923 / 鹿児島県城西高戦)



国立でしっかり勝ち、埼玉に戻って戦いたい

監督 堀 孝史

準々決勝は、まず勝てたことが良かったです。この選手たちは、積極的にやるな、と言っても積極的にやってしまう子たちなので、自分たちで考えうまくやってくれたのだと思います。いつもどおりやろうということだけで、ほかには特に指示をしていませんでした。多くの方が会場に来てくれましたが、選手たちにはいつも、勝ち負けや技術的なうまい下手はあるけど、何かを感じてもらえるものを出さなければいけないということは伝えていました。

準決勝までには、少し間が空くので、その期間をうまく使うことと、去年国立競技場で悔しい思いをしていますから、そこでしっかり勝つことができれば、埼玉に戻って戦うことができます。そうなるように選手たちと次に向けての準備をしたいと思います。(923)



準々決勝までの記録

<1次ラウンド>

- 9. 7 2 - 1 横浜FMユース
- 9.13 2 - 2 青森山田高
- 9.15 3 - 1 名古屋U18

<決勝トーナメント>

- ラウンド16
- 9.21 5 - 1 C大阪U-18
- 準々決勝
- 9.23 3 - 0 鹿児島県城西高

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)選手権準々決勝 駄目押し3点目を挙げた原口が、スタンド応援していた池田涼司に駆け寄る(923 / 鹿児島県城西高戦)

今年こそ！ 国立決戦を制し、埼スタへ

強豪3チームに負けなし グループ1位で決勝トーナメントへ

1次ラウンド(9/7~9/15)

9月7日から始まった1次ラウンド。グループAに入ったレッズユースは、第1日、横浜F・マリノスユースと駒場スタジアムで対戦した。攻勢を取った前半36分、原口元気のスルーパスに山田直輝が抜け出して左クロス。高橋峻希のシュートが弾かれたところを阪野豊史が蹴り込んで先制した。後半24分に追いつかれたが、高橋峻希がその7分後、相手陣内でボールを奪い、決勝点を挙げた。

NACK5 スタジアム大宮で行われた第2日の相手はプリンスリーグ東北優勝の青森山田高校。開始2分にPKを得た山田が自分で決め先制。その後も主導権を握ったが追加点が取れないまま、後半18分に同点にされると相手の攻撃をしのぐ時間が続いた。40分、阪野の左クロスに飛び込んだ山田のゴールで勝ち越したが、その4分後、PKを与えてしまい、2-2の引き分けに終わった。

第3日は、同じ1勝1分けの名古屋グランパスU18と駒場スタジアムで対戦。前半7分、CKのこぼれ球を磯部裕基が拾い、そのパスを山田がミドルシュート。これで先制し、試合のペースをつかんだ。

後半19分には永田拓也の縦パスを原口が左サイドで受け、深くえぐった折り返しを、飛び込んだ山田が頭で合わせた。さらに26分、原口が左サイドをドリブルで強引に突破してそのまま3点目を入れた。その後1点を返されたが、3-1の快勝で、グループ1位となった。



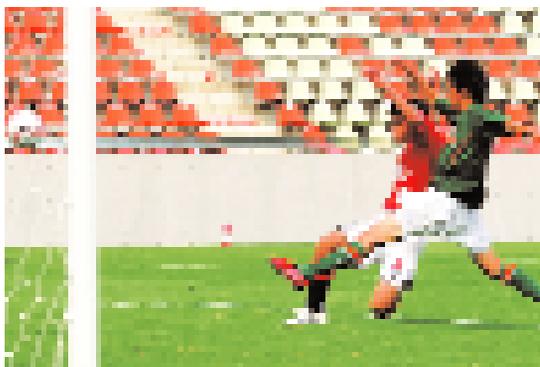
1次ラウンド第1日 前半36分、
阪野が蹴り込み先制する
(97 / 横浜FMユース戦)



1次ラウンド第2日 後半40分、武富がシュートを狙う
(913 / 青森山田高戦)



1次ラウンド第1日 後半31分、
高橋が決勝ゴールを挙げる
(97 / 横浜FMユース戦)



1次ラウンド第2日 後半40分、山田がゴールを挙げ2-1と
勝ち越す(913 / 青森山田高戦)



1次ラウンド第3日 後半26分、原口が
DFの間を強引に割って入りゴールを決める
(915 / 名古屋U18戦)

1次ラウンド 第1日	
9.7 / さいたま市駒場スタジアム	
浦和レッズユース	2 前1 後1 VS 前0 後1 横浜F・マリノスユース
	観衆1,068人
GK	柴田大地
DF	山地 翔 菅井順平 岡本拓也 永田拓也
MF	濱田水輝 山田直輝 田仲智紀(石沢哲也 / 87分) 高橋峻希(磯部裕基 / 88分) 原口元気
FW	阪野豊史(武富尚紀 / 89分)
レッズ得点者	阪野(36分)、高橋(76分)

1次ラウンド 第2日	
9.13 / NACK5スタジアム大宮	
浦和レッズユース	2 前1 後1 VS 前0 後2 青森山田高校
	観衆727人
GK	柴田大地
DF	山地 翔 菅井順平 岡本拓也 永田拓也
MF	濱田水輝 山田直輝 田仲智紀(石沢哲也 / 87分) 原口元気
FW	武富尚紀(磯部裕基 / 73分) 阪野豊史
レッズ得点者	山田2(2分、85分)

1次ラウンド 第3日	
9.15 / さいたま市駒場スタジアム	
浦和レッズユース	3 前1 後2 VS 前0 後1 名古屋グランパスU18
	観衆1,238人
GK	柴田大地
DF	山地 翔 菅井順平 岡本拓也(森田健介 / 62分) 永田拓也(池西 希 / 67分)
MF	濱田水輝 山田直輝 田仲智紀 原口元気(岸 幸太郎 / 80分) 磯部裕基
FW	阪野豊史
レッズ得点者	山田2(7分、64分) 原口(71分)



1次ラウンド第3日 後半19分、2点目の
起点となった永田が山田と原口を迎える
(915 / 名古屋U18戦)

そして初制覇へ!

先制されるも大量点で勝利

ラウンド16・C大阪U-18戦

ラウンド16は、雨の西が丘サッカー場で、セレッソ大阪U-18との対戦。開始から球際での激しい攻防が繰り広げられ、前半24分に今大会初めての先制を許す。しかしその3分後、左CKを山地翔が頭で合わせて同点。さらに41分、菅井順平のミドルシュートのこぼれ球を濱田水輝がペナルティーエリア付近で拾って落ちて着いて決めた。

守備陣の得点で逆転し迎えた後半は攻撃陣が奮起。一進一退の拮抗した展開から26分、原口が相手DFラインの裏に抜け出して田仲智紀からパスを受け、ドリブルでペナルティーエリアに侵入。そのままゴールネットを揺らした。39分にMF高橋峻希がFKからヘッドで、44分に磯部が得点し、結局5-1で大勝した。



ラウンド16 貴重な同点ゴールを挙げた山地がガッツポーズ(921 / C大阪U-18戦)

ラウンド16 右サイドバックを務める岡本。1年生ながら落ち着いた対応を見せる(921 / C大阪U-18戦)



ラウンド16 途中出場の磯部。フレッシュな動きで相手陣内を切り裂き、ゴールも挙げた(921 / C大阪U-18戦)

ラウンド16	
9.21 / 国立西が丘サッカー場	
浦和レッズユース	5 ^{前2} ^{後3} VS ^{前1} ^{後0} C大阪U-18
観衆 1,032 人	
GK	柴田大地
DF	山地 翔 菅井順平 岡本拓也(和田祐樹 / 88分) 永田拓也
MF	濱田水輝 山田直輝(池西 希 / 88分) 田仲智紀 高橋峻希 原口元気
FW	阪野豊史(磯部裕基 / 75分)
レッズ得点者	山地(27分)、濱田(41分)、原口(71分)、高橋(84分)、磯部(89分)

質の高さ見せて3-0の快勝

9.23 / 準々決勝

高校生ナンバーワンFWの呼び声高く、ラウンド16でG大阪ユースからハットトリックした大迫勇也を擁する鹿児島県城西高校との準々決勝。序盤から小気味よいワンタッチパスと速い攻守の切り替えで主導権を握ったレッズは、14分、高橋が前線で相手DFからボールを奪い、ゴールへ直進。GKを落ち着いてかわし、先制した。さらに36分、永田からの浮き球を、ゴール前に走り込んだ田仲がスピードを落とさずワントラップし、ボレーシュートをゴールに突き刺した。後半30分前後から城西にやや押し返されたが、菅井、山地の両センターバックとボランチ濱田が、相手の大迫を自由にさせない守備を見せ、本大会初の無失点。終了間際には原口が長いドリブルから、相手ペナルティーエリア内で複数のDFをかわして駄目押しとなる3点目を決めた。

試合を追うごとに調子を上げてきたレッズユース。多くのレッズサポーター、ファンが訪れた準々決勝で最高のプレーを見せた。

試合を追うごとに調子を上げてきたレッズユース。多くのレッズサポーター、ファンが訪れた準々決勝で最高のプレーを見せた。

準々決勝 キャプテンの菅井が試合の流れを読み守備陣をコントロールした(923 / 鹿児島県城西高戦)



準々決勝 相手のエース、大迫を封じる濱田(923 / 鹿児島県城西高戦)



準々決勝 この大会で初めて相手を無得点に抑えた柴田(923 / 鹿児島県城西高戦)



準々決勝 前半36分、田仲がゴールを決め2点差とする(923 / 鹿児島県城西高戦)

準々決勝	
9.23 / 国立西が丘サッカー場	
浦和レッズユース	3 ^{前2} ^{後1} VS ^{前0} ^{後0} 鹿児島県城西高校
観衆 2,849 人	
GK	柴田大地
DF	岡本拓也(和田祐樹 / 88分) 山地 翔 菅井順平 永田拓也
MF	濱田水輝 山田直輝(石沢哲也 / 88分) 田仲智紀 高橋峻希 原口元気
FW	阪野豊史(武富尚紀 / 72分)
レッズ得点者	高橋(14分)、田仲(36分)、原口(89分)

Jユースカップ2008 第16回Jリーグユース選手権

- レッズユース試合日程(Dグループ)
- 10/19(日) vs 柏(10時/埼玉スタジアム)
 - 10/25(土) vs 新潟(14時/東北電力)
 - 11/ 2(土) vs 川崎(18時/大原サッカー場)
 - 11/ 9(日) vs 柏(14時/柏)
 - 11/16(日) vs 新潟(14時/レッズランド)
 - 11/24(月・祝) vs 川崎(14時/等々力)

高円宮杯準決勝、決勝

- 準決勝
- 10/11(土) 国立競技場
12:00 レッズユース vs 岡山作陽高校
14:30 名古屋U18 vs F東京U-18
大人1,000円 小-高校生500円
 - 10/13(月祝) 13:00 埼玉スタジアム
S席(メインスタンド)2,000円
その他 大人1,000円 小-高校生500円

関東ユース(U-15)リーグ 来季残留決定

2008関東ユース(U-15)リーグが9月15日再開し、浦和レッズジュニアユースは10月4日までに3試合を行った。再開初戦の横浜F・マリノスジュニアユース戦は、0-3の完封負けを喫したが、続く横浜F・マリノスジュニアユース追浜戦は、点の取り合いの末、野崎雅也が決勝ゴールを挙げ3-2で競り勝った。10月4日にレッズランドで行われた柏レイソルU-15戦は、前半21分に失った1点を最後まで取り戻せなかった。

レッズジュニアユースは通算5勝4敗。12チームで戦われる関東リーグの10位以内になることが確定し、来季も関東リーグに残留することが決定した。リーグは残り2試合。



前半20分、西澤が柏のシュートをヘディングでクリアする (104 / 柏U-15戦)



後半12分、矢島がシュートを放つ (104 / 柏U-15戦)

前半37分、柏のシュートを大石がセーブする (104 / 柏U-15戦)



後半2分、繁田がラストパスをゴール前に送る (104 / 柏U-15戦)



後半9分、関口がシュートを狙う (104 / 柏U-15戦)



前半16分、堀田が右からクロスを入れる (104 / 柏U-15戦)



後半28分、FKから片がヘディングシュートを放つ (104 / 柏U-15戦)

関東ユース(U-15)リーグ 第7節	
9.15(月)マリノスタウン	
レッズジュニアユース	0 前0 後0 VS 前2 後1 横浜FMジュニアユース 3
GK	大石祐輝
DF	小出啓太(皆川孝之/40分) 西山航平 西澤秀平 新井純平
MF	片 横吾 鈴木悠太(堀田 稜/40分) 野崎雅也(関口天翔/40分) 繁田秀斗
FW	関根貴大(島貴央里/68分) 矢島慎也

関東ユース(U-15)リーグ 第8節	
9.21(日)日産追浜グラウンド	
レッズジュニアユース	3 前1 後2 VS 前1 後2 横浜FMジュニアユース追浜 2
GK	大石祐輝
DF	小出啓太 西山航平 西澤秀平 新井純平
MF	片 横吾 鈴木悠太 野崎雅也 堀田 稜(関口天翔/75分)
FW	島貴央里 矢島慎也
レッズ得点者	堀田(18分)、島貴(50分)、野崎(67分)

関東ユース(U-15)リーグ 第9節	
10.4(土)レッズランド	
レッズジュニアユース	0 前0 後0 VS 前1 後0 柏U-15 1
GK	大石祐輝
DF	小出啓太 西山航平 西澤秀平(野崎雅也/68分) 新井純平
MF	片 横吾 鈴木悠太(関口天翔/40分) 堀田 稜 小峯洋介(金野僚太/40分) 繁田秀斗
FW	矢島慎也

関東ユース(U-15)リーグ試合日程

- 10/12(日) vs 東京Vジュニアユース (13:00 / レッズランド)
- 10/18(土) vs 三菱養和SC巣鴨ジュニアユース (17:00 / 三菱養和G)

夏よりワンランク上のチームを目指して

監督 名取 篤

来季も関東リーグで戦えることが決まり、選手の先輩たちが築いたものを来年に持ち越せることになりました。関東リーグはレベル的に高い相手と戦えること、リーグ戦方式のため勝ち負けに関わらず次の試合があるので、長期的にチームを見ることができるといふ点ですごく大事なリーグだと思っています。今年から参加チームが増えて、1シーズン通した大会になり、今の期間は2年生、1年生の頑張り求められてくる時期です。3年生とやれる時期は今しかないですから。

夏のクラブユース選手権で3位になりましたが、チームの力に大きな差がなく、ほんの少しのところで勝敗が分かれる年代ですから、関東リーグの前期6試合でそういう頑張り身を付けたことも影響していると思います。あの大会では準々決勝でFC東京むさしに逆転勝ちしましたが、ああいう厳しい試合になると、個人個人がたくましくなっていくと勝てないと思います。もちろ

んちチームで勝っていくわけですが、チームの力というも個人の力の蓄積というところがあるし、俺がやってやる、という選手が出てこないといけません。そういうところを2年生、1年生にはこの時期に身につけて欲しいと思います。それがチームを活性化させます。

11月から高円宮杯の関東予選が始まりますが、トーナメントで3試合を勝ち抜かないと全国に行けないという、ある意味では、全国大会のグループリーグより厳しい大会です。去年はそこを突破して全国大会を経験できたので、今年の選手たちにもまたそれを味わわせてやりたいと思います。

そのためにも関東リーグの残り2試合は、勝ち負けにもこだわりながら、個人を鍛えていきたいと思っています。勝つために特別なことをやるのではなく、これまでやってきたことの精度を上げていき、夏よりワンランク上のチームを目指していきます。